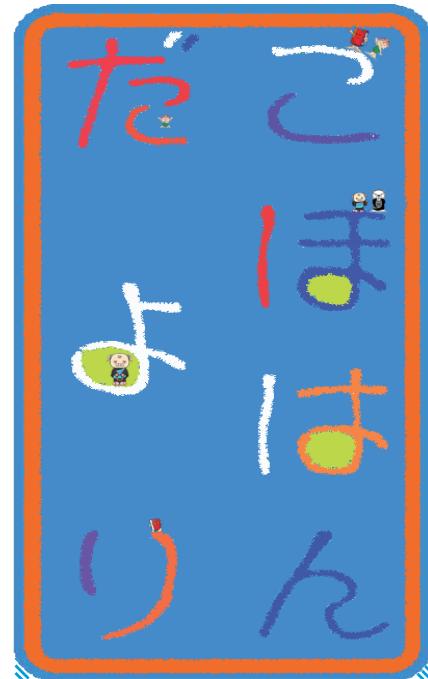


お出でになりましたいしただ  
いたお子さん(小学  
生以下)共計20名様  
におみやげの菓子を  
用意しておもてなしださ  
い。



はつまいり 修正会

初老や還暦の方々が団体参拝されますので修正会の始まる時間が変更となる場合もございます  
年始は一日午前四時半より二日午後四時まで受付します



発行：真宗大谷派 常入寺  
富山市東老田 787 番地

電話 (076) 436-0816  
FAX (076) 436-2766

携 带090-3764-3983

発行責任：青井和成

# 初参り・初詣は ご縁の深いお寺で いたしましょう

常入寺は喪中など関係なくどなたでもいつでもお参りできます。

ご本尊の阿弥陀如来は人を選ぶことはありません。どうぞどなたでもお参りください。

一 周 期	二〇一三年命終	平成二十五年
三 回 期	二〇一二年命終	平成二十四年
表 七 回 期	二〇〇七年命終	平成十九年
十三回期	二〇〇二年命終	平成十四年
十七回期	一九九八年命終	平成十年
(廿三回期)	一九九二年命終	平成四年
廿五回期	一九九〇八年命終	昭和六十三年
(廿七回期)	一九八八年命終	昭和五十七年
卅三回期	一九八二年命終	昭和四十年
五十回期	一九六五年命終	大正四年
百回期	一九一五年命終	法要について

**〔法要について〕** 法要は年期というものに基づいて行われることが多いです。しかし年期は仏教に基づくものではありません。ですから年期になつたから絶対に勤めなければいけないことはありません。基本的に法要とは法の力ナメ（要）を聞くという行事なのです。いつしなければいけないとということではなく、法要を催したくなつた時に催せばよいものです。年期は法要を勤める一つの手がかりです。しかし法要を全く勤める必要がないという意味では全くありません。法要を勤めながら法要を催す意義を尋ねていきましょう

東本願寺御正忌報恩  
講がつとまりました。

京都にある東本願寺では11月21日より28日まで真宗本廟御正忌報恩講が勤まりました。

初日の21日は「初逮夜」が勤められ、肌寒い中多くの方々が参詣されました。また、午前中には「御正忌報恩講讚仰法要（音楽法要）」が勤まり、御影堂には美しい声が響きわたりました。

報恩講期間中 (21 日 ~ 28 日)

は境内名所で「莘恩語園児絵画展」、「子ども参拝案内所」、「阿弥陀堂御修復現場视察」、「御修復のあゆみ展」、「チャリティー・ブックフェア」、東日本大震災「語りべ小屋」などさまざま催しがありました。

東日本大震災「語りべ小屋」では日中・遅夜の各法要終了後に現地の方にお越しいただき、被災地の現状をお話しいただくと共に、原発事故により帰還できない区域にある寺院の様子をビデオで上映しました。さらに、被災地支援の一環として仮設住宅などで製作された復興支援グッズも販売しました。



初逮夜



## 全国からの団体参拝バス



報恩講園児絵画展

東日本大震災「語りべ小屋」—被災地の「声」を聞こう！—

「語りべ小屋」では現地の方にお越しいただき、被災地の現状をお話しいただくとともに、原発事故により帰還できない区域にある寺院の様子をビデオで上映。また、支援の一環として、仮設住宅などで製作された復興支援グッズを販売をしました。



おばちゃん手芸部・廣野さんによるお話



ビデオ上映



被災地支援グッズもさまざまに



### 被災地チャリティーブックフェア

【アトガキ】当寺の御正忌法要を勤め終えて後書きを書かせていただいています。今年はこれでお寺の大きな行事も終了です。でも気づけばもう12月、もう二〇一三年は終了します。ということであつという間の一年でしたね。こういうあつという間の一年の繰り返していく中で私たちはお預かりしていたいのちもお返ししなければいけないことなのでしょう。私の生命もあつという間に終えていかないといけないことでしよう。☆12月になると一年を振り返り、やり残したことを行いだし、慌ててしまう私ですが、人生も同じことにならないよう気をつけないといけないですね。△12月になると「よいお年を!」とよく声をかけていただきますが、人生に次があるかないかわかりません。そういう意味で一度きりの人生と思った方がよいことなうでしよう。またよい年とは何かと言ふことを阿弥陀さまにもお聞きしないと。